



風力発電に係る環境影響評価制度の検討状況について

令和5年5月29日

環境省
環境影響評価課



<地球温暖化対策計画（令和3年10月）>

- 環境アセスメント制度について、立地や環境影響などの洋上風力発電の特性を踏まえた最適なあり方を、関係省庁、地方自治体、事業者等の連携の下検討するとともに、陸上風力等についても引き続き効率化に取り組む。



洋上・陸上風力それぞれの特性に応じ、環境配慮を効果的・効率的に確保できるよう、

- ・洋上については環境省がアセスの一部を実施するセントラル方式の導入

- ・陸上についてはより適正な立地、手続の合理化を図る観点での制度設計

を含め、風力発電に係る環境アセスメント制度の検討を進めているところ。

風力発電に係る環境影響評価制度の検討状況について



洋上風力：規制改革実施計画（令和4年6月閣議決定）

セントラル方式の確立

環境アセスメント制度について、立地や環境影響などの洋上風力発電の特性を踏まえた最適なあり方を、関係府省、地方公共団体、事業者等の連携の下検討する。（令和4年から検討開始し、速やかに結論を得る。）

- 令和4年度は、関係省庁とともに検討会を立ち上げ、セントラル方式の検討の一部として、立地や環境影響などの洋上風力発電の特性を踏まえた最適な制度のあり方について検討を実施。
- 令和5年度は、令和4年度検討内容や論点等を踏まえ、具体的な制度について検討を進めているところ（令和5年度第1回検討会：5月11日実施、第2回検討会：6月1日実施予定）。

陸上風力：規制改革実施計画（令和3年6月閣議決定）

立地に応じ地域の環境特性を踏まえた、効果的・効率的なアセスメントに係る制度的対応の在り方について迅速に検討・結論を得る。（令和3年上半期には具体的な検討を開始、令和4年度結論）

- 令和3年度に経済産業省とともに検討会を立ち上げ、立地に応じ地域の環境特性を踏まえた、効果的・効率的なアセスメントに係る制度的対応のあり方について検討を実施し、令和4年度に取りまとめ、公表。
- 令和5年度は、令和4年度に取りまとめた方向性を基礎としつつ、制度の詳細設計のための議論を速やかに実施する予定。